

資産運用レポート：NISA口座の活用法

1. はじめに

2014年より、NISA（ニーサ：少額投資非課税制度）が導入されます。私たち個人投資家にとって、本当に大切なのは「税引後リターン」につき、このような制度は上手く活用したいものです。

ポイントは、次の2つです。

1. NISAのデメリットについて理解すること
2. 自分の投資の中でNISAの位置づけを考えること

1-1. NISAのデメリット

まず、主なデメリットを押さえておきましょう。

- 課税口座との通算損益はできない
- 非課税枠の持ち越しや再利用もできない

たとえば、1月にある銘柄を100万円分買い、2月に損切りさせられた場合、その年はもうNISA口座で株を買い直すことができません。

しかも、損失分は課税口座と通算損益が不可です。課税口座で利益の出ているケースでは、NISAを利用したために相殺できず、税金が高くなるという、皮肉な結果を招きます。

以上より、NISAは短期売買には向いていないといえそうです。

1-2. NISAの位置づけ

次に、デメリットを理解した上で、自分の投資の中で、どのようなアセットクラスや銘柄をNISA口座に割り当てるのか、検討します。

万人向けなのは、日本株のアクティブ運用は今までどおり課税口座で行い、NISA口座では外国株ETFやインデックスファンドを長期保有するやり方でしょうか。

あるいは、保有銘柄のうち、長期投資を行いたい銘柄の株価が一時的に下がったとき、課税口座で損切りしてNISA口座で買い戻す方法も考えられます。

それでは、次ページより、具体的な活用方法に入ります。